

岡山市選挙管理委員会と協働して「WASAO レター」を作成

岡山市立岡山後楽館高等学校まちなかのふるさと教育実行委員会

活動の目的

地域課題について地域や他機関と連携しながら情報を収集し、まとめた結果や提案を校外で発信したり実際に実践したりすることで、市民としての自分と社会との関わりを実感し、地域にさらに関心を深め参画することで地域に貢献できる人材を育成することを目的としている。そのために、申請活動では当初は小学生に向けてのSDGsに関連した地域課題に関する出前授業も考えていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により不可能となった。そこで、岡山市選挙管理委員会と協働して、岡山市の様々な課題を解決するために研究した成果をもとに、自分たちの考えを行政に届け双方向型のやりとりをしながら広報紙「WASAO レター」を作成し、岡山市内の高校に配布することで高校生に岡山市の課題について目を向けてもらうための広報活動を行った。ただし、「WASAO レター」の印刷と配布は岡山市選挙管理委員会が実施した。

活動の内容及び経過

本校では、全生徒を対象に「まちなかのふるさと教育」を実施している。特に、「総合的な探究（学習）の時間」を中心とした活動を行っている。

1年次では、まずは「地域を知る」という観点から、岡山市役所職員による「岡山市の現状や課題、課題解決のための取組」についてお話を聞き、自分たちでできる解決策を提案する活動をしたり、地域で活躍している様々な方の「地域に対する思いや取組」を聞くことでいろいろな地域活性化の取組を知ったりすることができる。また、岡山大学の先生の指導の下、岡山駅前商店街や奉還町商店街、岡ビル市場などでフィールドワーク調査を実施し、商店街が抱える課題や現状を実際に目の当たりにすることで、問題意識をもつようになる。

2・3年次では、「地域を良くする」という観点から、岡山市の課題を見つけ、課題解決のためのグループ研究を行う。地域や他機関と連携しながら、フィールドワーク調査やインタビュー調査、アンケート調査などを実施し、結果をまとめ解決策を考え校内発表会で提案する活動を行っている。

活動の成果・効果

地域資源を生かして地域の方や他機関と連携して、仲間と協働的に活動するという「まちなかのふるさと教育」の取組を実施してからは、「コミュニケーション能力、情報収集能力、情報活用能力の向上」や、「課題を解決するための論理的思考力、判断力、表現力を身に付けることができた」と感じている生徒が増加した。また、特に学校全体で「岡山市などの地域課題を1つ以上言うことができる」生徒が72%と昨年の



岡山市役所職員へのインタビュー調査



岡山市役所職員による課題発見解決の授業



3年次生総合的な学習の時間最終発表会



フィールドワーク調査

68%に比べて高くなってきている。岡山市職員による講義やフィールドワーク調査など1年次での取り組みの成果が表れている。また、3年間の活動を終えた3年次生では「コミュニケーション力」「口頭で自分の考えを説明できる力」「他者と協力する態度」「進んで参加する態度」が身についたと感じたり、岡山に関心を深めたりした生徒が増加した。「WASAO レター」は、第6話「岡山からバスが消えた」、第7話「独居高齢者の実態に迫る」、第8話「自転車どこに止める?」、第9話「外国人を助けよう」という内容で作成した。

今後の課題と問題点

校内発表会を実施する中で、調べ学習で終わっていて研究になっていないグループが多いという声があり、指導方法の改善とともに研究テーマを決める段階でもう少し丁寧な指導が必要な部分や、外部機関との連携など教員の指導力の向上が課題となっている。また、組織的な指導体制になっていないため、学年担当者を中心として学年団主体で3年間の見通しをもって教員全員が指導できるように研修などを行う必要がある。さらに、3年次の「総合的な探究（学習）の時間」の最終発表会に、本校で講義をさせていただいている市役所の担当課の職員の方に発表を聞いていただき、アドバイスなどをいただけるようにしていきたい。「WASAO レター」以外にも、活動内容を広く校外へ発信していくための方法を考える必要がある。一番大きな課題は、本校に地域コーディネーターがないことである。

- 代表者：姫路勲 ●所在地：岡山市北区南方
- TEL：086-226-7100 ●E-MAIL：korak001@city-okayama.ed.jp
- URL：http://www.city-okayama.ed.jp/~korakukan/
- 設立年：2016年 ●メンバー数：13名